土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う測量・設計業務委託（宮川第2支川）

事業名 または 工事名

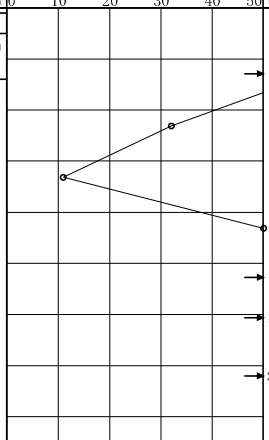
調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	Bor.No.1	**調査位置**	広島県呉市吉浦上城町13地内			**北緯**	34° 16′ 12.3989″
発注機関	広島県西部建設事務所呉支所			**調査期間**	2020年 9月 10日 ～ 2020年 9月 11日	**東経**	132° 31′ 38.4865″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 102.82m	**角度**	180° 上下 90° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 15°
総削孔長	7.00m					**使用機種**	**試錐機** 東邦D1-B
							エンジン ヤンマーNFD12 **ポンプ** 東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1	101.67	1.15		礫混じり砂		褐灰～灰褐	rd1		新生代第四紀	崖錐堆積物。中～粗粒砂を主体とし、所々にΦ2～3cm程度の礫を含む。GL-0.6mまで植物片を混入する表土であり、褐灰色で粗粒。	09/1 1.40
2	100.72	2.10		強風化花崗岩		灰褐			中生代白亜紀	粗粒花崗岩の強風化部（軟岩I）。土砂状コア。全体的に指圧で容易に崩せ、マサ状になるが、崩せない部分（GL-1.7～1.8、1.9～2.0m）もあり、硬質部が残存していると考えられる。硬質部はハンマーで軽く叩くと割れる。【DH級】	
3	99.82	3.00		花崗岩強風化土							
4	98.82	4.00		化崗岩強風化土						粗粒花崗岩の強風化土（砂質土）。土砂状コア。全体的に強い指圧で崩せ、マサ状になるが、崩せない部分（GL-2.8～3.0m）もあり、硬質部が残存していると考えられる。硬質部はハンマーで軽く叩くと割れる。GL-2.75m付近は、熱水変質を受け、粘土化している。【DM級】	
5				強風化花崗岩		褐灰				粗粒花崗岩の強風化土（砂質土）。棒状コア。指圧で容易に砕け、マサ状になる。全体的に熱水変質を受け、粘土化している。GL-3.8m付近に高角度の熱水変質脈が認められる。【DL級】	
6											
7	95.82	7.00								粗粒花崗岩の強風化部（軟岩I）。強い指圧で崩せ、マサ状になる。GL-6.7～6.8m付近は熱水変質を受けており、褐色を帯び、指圧で容易に崩せる。【DH級】	
8											

標準貫入試験

深度－N値図



N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
60	1.15	19	19	12	50/250	250	
	1.40			50			
32	2.15	9	9	14	32/300		
	2.45						
11	3.15	3	4	4	11/300		
	3.45						
50	4.15	16	17	17	50/300	300	
	4.45						
68	5.15	17	26	7	50/220	220	
	5.37			20			
150	6.00	50			50/100	100	
	6.10						
214	7.15	50			50/70	70	
	7.22	70					

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					9/10
					9/11